

広報 心しん

NO. 141

48.8.25 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



富士まつりの子どもみこし大会（八月五日・吉原本町通りで）

青空号の測定結果

柳島や前田も環境基準を下回る

一酸化窒素は高濃度を測定

…名古屋、大阪に匹敵…

市内の大気汚染（イオウ酸化物）は、毎年すこしづつ減少しています。測定は富士保健所、元吉原中学校など9カ所の固定局で常時行なっています。しかし、このほかの地区の汚染調査は、これまであまり実施していませんでした。そこで市内全体の汚染状況を知るために、公害測定車の「青空号」が各地区を回って測定を行なっています。

現在は富士と富士宮の境界（天間）でオキシダントを中心に測定していますがこのほど今年の1月から5月までの測定結果がまとまりましたのでお知らせいたします。調査地点は柳島の東芝寮前と前田の富士化工前、富士と沼津の境界にあたる植田の3カ所です。

柳島では1月17日から2月15日までの30日間に、イオウ酸化物、一酸化窒素、二酸化窒素の3物質を測定しました。この結果、イオウ酸化物の期間平均値は0.04 PPMでした。この測定値は、常時測定地点の勤労青少年会館と同じくらいで、国が示している環境基準値の0.05 PPM以内にあります。しかし、市内全体の平均値は0.037 PPMですから、すこし高くなっています。

大気汚染は気象条件、特に風の方向

に大きく左右されるものですが、測定地点の風向は、発生源工場の多い北からが50%以上も記録されました。このようなことから年間の濃度を予測すると、柳島地区においてはこれ以上高くなることは考えられません。

窒素酸化物は、一酸化窒素が0.026 PPM、二酸化窒素が0.044 PPMで、国道1号線のアストロボール付近に比べかなり下回っていますが、名古屋、大阪に匹敵する汚染です。

前田では3月1日から3月29日まで行ないましたが、測定物質は一酸化炭素を新たに4物質について調べました。イオウ酸化物は期間平均0.04 PPMで、柳島と同じくらいの汚染度です。また、一酸化窒素も0.02 PPM、二酸化窒素0.043 PPMで、同じような汚染状況です。

なお、一酸化炭素は、測定地点が自動車の通行が比較的少ない所なので、2.31 PPMと環境基準の10 PPMを大幅に下回っていました。

植田地区の測定は、4月11日から5月9日まで行ないました。測定物質はオキシダントなども入れて8物質になりました。

測定物質の期間平均値は、イオウ酸化物が0.026 PPM、浮遊粉じん0.034 mg/m³、一酸化窒素0.012 PPM、二酸化窒素0.029 PPM、全炭化水素0.68 PPM、飽和炭化水素0.38 PPM、一酸化炭素1.69 PPM、オキシダント0.037 PPMで各項目とも全体的に低い値を記録しました。

イオウ酸化物の0.026 PPMは、常時測定地点の大淵地区に相当します。なお、一酸化炭素、炭化水素については、測定場所が田園地帯のために、低い濃度が記録されました。



固定測点に観測小屋を

…同じ条件で測定はじめる…

大気汚染の観測を同じ条件のもとで行なうため、伝法小学校、今泉小学校、大淵中学校、富士中学校、鷹岡公民館の5測点に観測小屋を建設しました。

現在の観測室は、法律で定められた基準以内に空気の採取位置がありますが、建物の2階や3階、4階とまちまちです。しかし、空気の採取位置がまちまちだと、濃度が異なり、

測定結果の比較や解析をする時に、問題点が多くあります。

このようなことから新しい観測小屋の建設を行ないましたが、測定は9月中旬から実施します。

観測小屋はブロック製で、室内の温度を下げるためにクーラーも設置しました。また風向風速は地上から6mの地点で測定します。



【富士中学校の観測小屋】

富士地区に
光化学スモッグが発生



「光化学スモッグは風の無い
どんよりした日に多く発生」

富士地域（富士・富士宮・芝川・富士川、蒲原、由比）に8月8日はじめて光化学スモッグが発生し、静岡県ではオキシダント注意報を発令しました。その後9日、13日、20日と続いて高濃度が出現しましたが、さいわい大きな被害はありませんでした

光化学スモッグについては、すでにお知らせしましたが、発生原因としては、工場や自動車などから排出される窒素酸化物や炭化水素などの有毒ガスが、太陽の紫外線によって化学反応を起こしてできるものです。特に夏の日差しの強い日中で、風の無いどんよりした日に多く発

生します。

現在富士地区の測定は、県で富士市、富士宮市、蒲原町の3カ所で常時測定、市の青空号で移動測定を行なっています。

光化学スモッグ注意報の発令は、県の常時測定局で、オキシダント濃度が0.15PPM以上になると、県知事が濃度に応じて注意報、警報、重大緊急警報を発令します。そこで、注意報などが発令されると、被害を最少限に食い止めるため、発令区分によって各工場に対し燃料の使用量を減らす措置を要請します

4回にわたる発生では、富士宮の測定局で高濃度が出現して

いますが、最高0.156PPMで注意報にとどまっています。これまで大きな被害はでていませんが、ひどい場合は植物の葉が落ちたり、目が刺激されチカチカしたりします。特に過激な運動中の小中学生が被害を受けやすいとされています。

光化学スモッグが発生するとテレビやラジオ、市の広報無線放送で注意を呼びかけています発生したときには、屋外の過激な運動などはなるべく避け、目やのどに刺激を感じたときはすぐに洗眼、うがいをするなど、みなさんも十分注意をしてください。



2日間にわたり岳排の総点検と清掃を

岳南排水路を総点検

田子の浦水域の水質汚染も調査

富士地区の製紙工場のほとんどがお盆休みになった8月15日と16日に、岳南排水路管理組合では、排水路の総点検と清掃を行ないました。

岳南排水路は、富士、富士宮市内の製紙工場などから出る汚水を田子の浦港へ排出しています。総延長は35kmにもおよび、1日の排出量は約170万トンにのぼっています。しかし、工場が休みになった2日間は1年ぶりに排出もピタリと止まりました。この間に管路内の損傷や水もれがないか調べ、積った製紙カス、土砂などを取り

のぞきました。

また、岳南排水路の総点検とあわせて市公害課と県公害防止センターでは、8月15日、田子の浦港水域の水質調査を行ないました。これまで、各工場が操業している時のデータは十分にそろっていますが、休業時のデータがないので、比較資料にするための調査でした。

調査は市公害課が、田子の浦港に流れ込んでいる沼川、潤井川、岳排など7カ所で、臭気、浮遊物質、CODなど9項目にわたって行ないました。また、県公害防止センターは、田子の浦港の出口付近を中心に7カ所で、港外へ拡散する汚染水質調査を行ないました。

なぜ大人はコイを盗んだり するのかな——

池谷良美(柚木)

バスに乗って富士市のしせつ見学、おにぎりやすいとう、おやつを持って父といっしょに行った。

港・富士川河口・せいそうさぎょうじょなど見学したが、丸火自然公園が一番きれいだった。空気がすんでいて気持ちがよく、林の中では小鳥がさえずり、ひぐらしぜみが鳴いていた。あたり一面緑一色で、木かげに入るとひんやりして、夏の間ここにいたいと思ったほどです。

大きな池にコイがたくさん泳いでいました。だけど、2500匹もいたコイが、ある日、ひとぼんのうちに2000匹もぬすまれたそうです。わるい人がいるもんだなあーひとぼんのうちに2000匹もぬすんだのは大人でしょうね。なぜそんなことをしたのかなとぼくは思いました。



【午後は活発な意見交換】

親と子の市政教室

子どもたちの活発な意見に 渡辺市長もたじたじ

市政に対して理解を深めていただくために、親と子の市政教室を8月6日と7日の2日間行ないましたが、52組の親子が参加しました。市政教室は夏休みの1日を利用して、親と子に公共施設を見ても

らい、感じたことや市政全般について渡辺市長、時田教育長と話し合いをしてもらいました。

まず午前中は市役所をはじめ、消防署田子の浦港、丸火自然公園、第1清掃作業所などの公共施設を見学しました。午後は渡辺市長の市政についての話しや、施設を見学して気づいたこと、市政に対する意見の交換などを2時間にわたって行ないました。

意見交換では、子どもでなければ考えつかないような、思わぬ質問が飛び出し渡辺市長も目を白黒

させていましたが、次のような意見がありました。

・公園にジャングルジムなどの遊具もいいけど、これからは芝のある広場もつくってほしい。

・丸火自然公園へ行く道が狭かったのでバスがすれちがうのに苦労していたから道を広くしてほしい。

・学校の運動場は、風がふくとほこりがひどいから、なんとかしてください。

このほか、市民プールのことや自動車文庫、公害についてなどたくさんの意見がありました。



広々として素敵だった 丸火自然公園

金刺美和子(松岡)

市長さん、市役所のおにいさんどうもありがとうございました。

わたしは、市役所見学だけかと思っておかあさんについていたら「わたしたちの町」「みんなのしせつ」「市のれきし」などのしおりや本をいただいて、それを見ながら、あちこち見せていただいたのしかった。

とくに、丸火自然公園は広々としてい

て、ひんやりした空気は、すこし気分の悪かったわたしも一度になおってしまいました。家の近くへこんな公園をもって帰りたい気もちでした。でも、もうすこしなにかたりないようかんじた。

教育長さんが、緑の学校やはく物館のようなものをたててくれるとおっしゃいましたが、早く実げんしてください。たのしみにしています。

第1せいそう作業所を見せてもらった時は、鼻をつままなければいられないほどでした。この仕事を毎日してくださるおじさんは、たいへんだらうと思います。おじさんたちのおかげで、富士市もきれいになるのです。「ありがとう。」



【消防署でハシゴ車を見学】

健康を考える

適度な運動が健康保持のひけつ

運動はもやもやの 解消にも一役

肩がはって気分が悪い、すぐに疲れてしまう、胃腸の調子がおかしい、血圧が高くてこまるなど、日常の会話の中でよく聞く言葉です。しかし、肩がはるとか血圧が高くてなどというのは年輩の方がいふことだと思っていたら、最近では若い人たちの間でもしばしば話題になっているようです。生活様式、社会環境、労働内容、食生活の変化などが複雑にからみあって、私たちの健康に影響を及ぼしていますが、運動不足が原因となっていることも確かです。

市内には体育、スポーツに親しみ運動を楽しんでいる人が多くいます。そこでその中の何人かに、運動をやってみて、どんな点がよいと思うか質問してみました。すると肩がはらなくなった、胃腸の調子がよくなり食欲が出てきた、心のもやもやが消えた、知人が多くなったなどの返事が多く聞かれました。この人たち

が体育、スポーツを始めた動機は体力をつけたい、人にさそわれて、あるいは親子のふれあいの場を得るためとかさまざまですが、運動を続けているうちに身体的な面によい結果をもたらしています。

丈夫で長もちする身体を

人間の身体は多くの組織、器管が複雑にからみあって生命を維持しています。

このからみあっている歯車がかくると、身体や心の健康を保つことができなくなりますそこで、複雑な歯車のからみ具合を円滑にし、調子を整える役目を果たすのが適度の身体運動といえます。

また、適度の運動は血液の循環をよくします。血液は体内に酸素や栄養、ホルモンを運搬し、不用になったものを排出する役目を果していますから、調子を整え若さを維持し、丈夫で長もちする身体をつくるためには、どうしても適度の身体運動が必要です。さて、次回は運動不足をおぎなうために、どうしたらよいかを考えてみたいと思います。



【適度な運動が丈夫で長もちする身体を】

もう一度身の回りの点検を

… 9月1日から危険物安全週間…

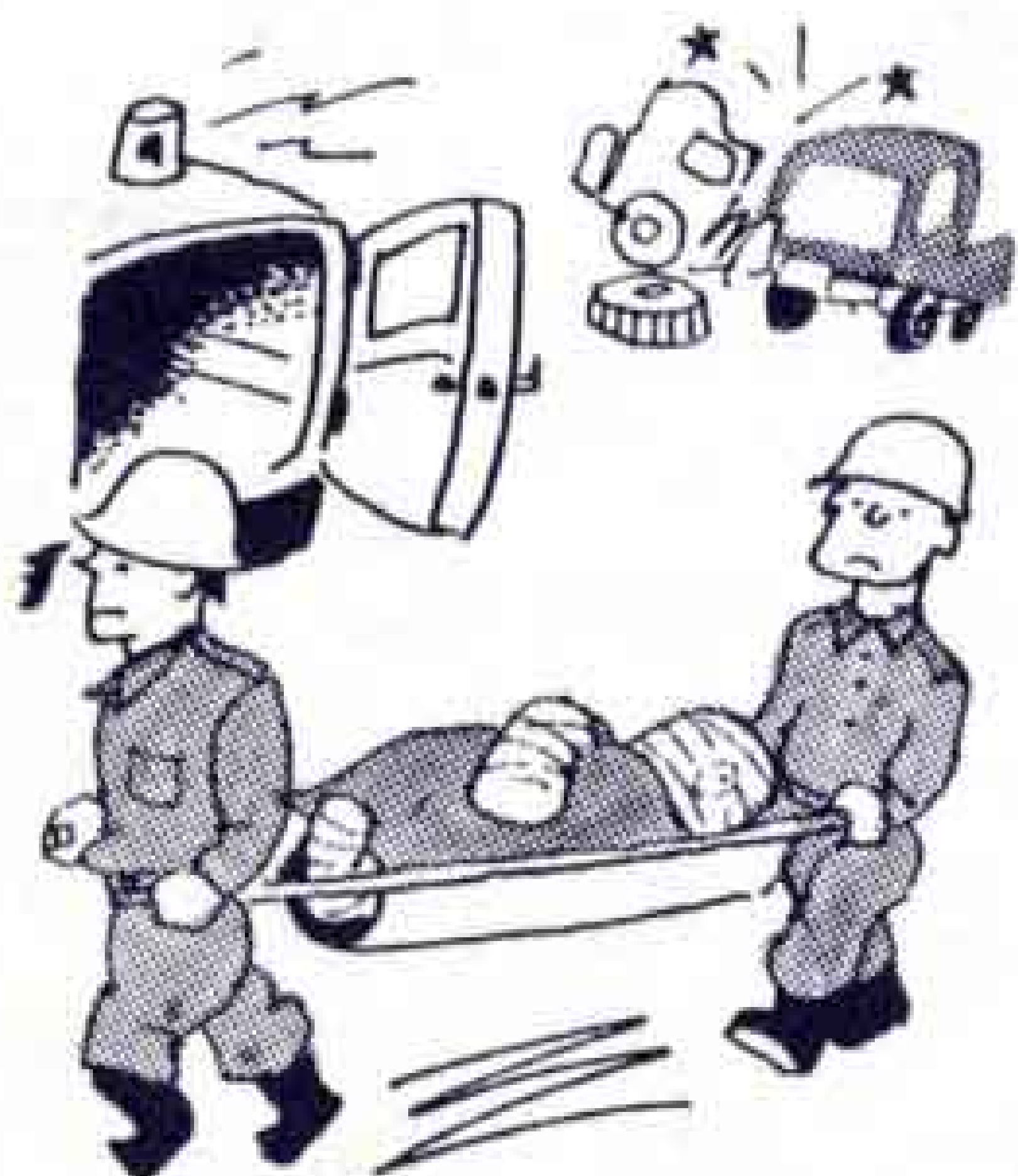
危険物安全週間が9月1日から始まります。この週間は、油類や火薬などの貯蔵や取り扱いに新たな注意をはらい恐しい事故を防ぐために設けられたものです。

市消防本部では、富士市防火協会、県危険物安全協会連絡会と協力し、週間中に危険物を取り扱う事業所に自主点検を呼びかけるほか、ガソリンスタンドの立ち入り調査、予防規制を作成するための

講習会などを開き、事故の防止につとめていきます。

危険物による事故が発生すると、多くの尊い人命や財産が失なわれます。こうした事故を防ぐには、不断の心構えと細心の注意が大切です。事業所はもちろんのこと、各家庭でも身の回りをもう一度点検し、恐しい事故を起こさないように十分ご注意ください。

件数 191件
(6月まで 1262件)
死者 2人
(6月まで 15人)
負傷者 96人
(6月まで 620人)



七月の
交通
火災
事故
件数



6件発生
(6月まで 68件)
損害額 219万円
(6月まで 9156万円)
死者 0 傷者 2
(6月まで 死者0人
負傷者16人)

私の見

富士まつりについて

ふるさとの香りが ない“祭”

あまり祭りなど出かけたことのない私だが、子どもにせがまれて富士の町へ出かけた。

きれいに飾られた商店街、威勢のいい祭りばやし、道の両側にぎっしりと並んだ夜店の列、**“祭りだなあ”**と思ったしかし、夜店をゆっくりのぞいて歩くこともできないほどに集った人々の顔には意外と笑顔が少なかったようだ。私も求めてきた夏の**“涼”**はとうとう見つからなかった。

市民の祭りなのに、ふるさとの香りのしない味気なさだろうか。昔のお宮さんの祭りをなつかしく思い出しながら家路についた。
(鮫島・村瀬静子)

チョット淋しかった 花火大会

いつもは左右注意しながら歩く本町通りも、8月4と5日は、夕方から歩行者天国となって、私も娘の手を取り夜店を見て回りました。娘もハジャギ、私も童心

に帰り、大いに楽しみました。

催し物はにぎやかに行なわれましたが花火がチョット淋しく思いました。また甲子まつりと富士まつりがいっしょに行なわれたので、損したような気持です。例年のように、甲子まつりと富士まつりを分けてやってください。夏まつりを多く楽しみたいと思うのは、私だけでしょうか。
(上横割・大石キヌエ)

よかった地区ごとの 花火の打ち上げ

富士まつりは、本当に楽しい2日間でした。

各地区での分散花火は大賛成です。1カ所の定まった所へ、バスにもまれもまれて見に行く花火より、地区ごとに打ち上げてくれれば、たとえ遠く小さく見えても、家の軒ばからでも楽しめます。どんな豪華な集中花火や仕掛花火にもおとらぬすばらしいものでした。

どうぞ来年も、出来ればもっと各地区に分散して、数が少なくなっても行なってください。そのほうが市民全体で、楽しい夏の夜を味わえます。

(吉原・一市民)

緑と花のコーナー

九月の花ことば

9月の花はハギ。秋の七草のひとつで赤紫や白の小さい花が咲きます
1日トラユリ・私にも幸福が。2日ツルコベニア・噂の人。3日マーガレット・恋の占い。4日ダイコンソウ・前途洋々。5日オヒヨウ・呪い。6日ノウゼンハレン・むら気。7日カラタチ・相思相愛。8日カラジナ・冷淡。9日ミケルマスデージ・追想。10日アスター(白色)慕う。11日アロエ・迷信的。12日チッセン・策略家。13日シダレヤナギ・悲哀。14日マルメロ・誘惑。15日ダリア・移り気。16日オヤマノリンドウ・判断は的確。17日エリカ・ひと騒動起す。18日アザミ・独立心。19日カレックスパキユラタ・隠忍。20日マンノンロウ・記憶がいい。21日イヌサフラン・全盛期は過去。22日コバンソウ・激動的。23日イチイ・悲哀。24日カラタチ・貞節。25日カラスムギ・神経過敏。26日カキ・実行力がある。27日カシワ・自由奔放。28日ヒモゲイトウ・失望、ただし心配は無用。29日リンゴ・愛する人に誘惑。30日スギ・あなたのために命をかける。

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

- 9月2日
外科 宮下医院(平垣3 61-0376)
吉原病院(南町 52-0780)
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)
- 9月9日
外科 中央病院(本市場4区61-8800)
吉田医院(石坂 51-2515)

産婦人科 中央病院
(本市場4区 61-8800)

- 9月15日
外科 川村医院(富士中島 61-4050)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

- 9月16日
外科 石川医院(瓜島 52-1985)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 山下医院(西国窪52-0611)

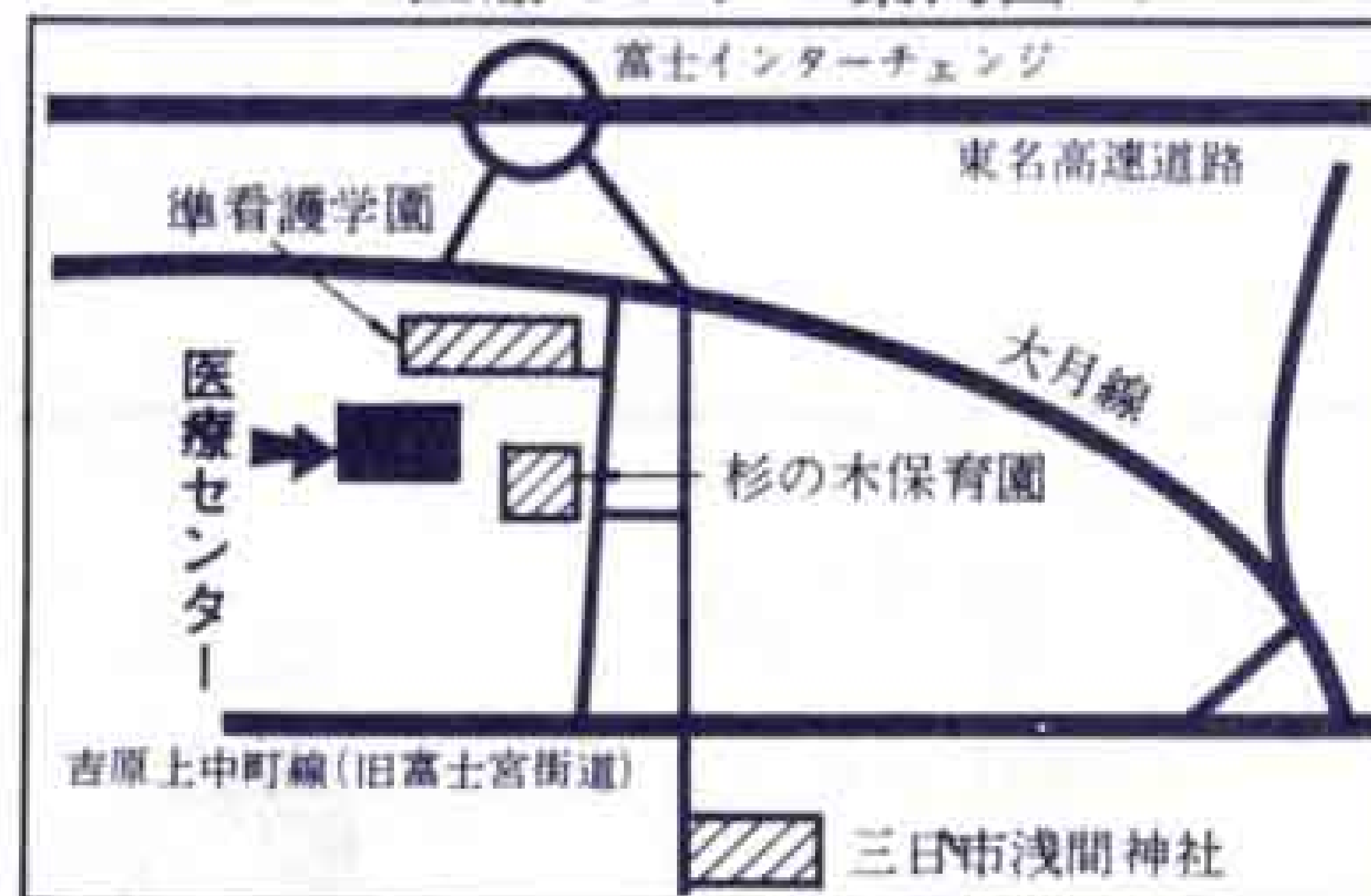
- 9月23日
外科 望月医院(本市場 61-0401)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 池谷医院(水戸島61-0873)

- 9月24日
外科 吉原病院(南町 52-0780)
鈴木医院(宇東川3 52-2213)
産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)

■9月30日

- 外科 田辺医院(本市場 61-8410)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 谷医院(平垣八幡61-0039)

医療センター案内図



※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。



納涼市政相談

市民みなさんの意見、要望などを市政に反映させるために、「納涼市政相談」をさきごろ吉原、富士、鷹岡の3会場で開きました。渡辺市長をはじめ関係部課長が出席し、相談に訪れた人から直接話しを聞きましたが、道路の舗装や補修、河川や水路の改修、上水道の給水、維持管理など生活に密接した相談ごとが多く出てきました。

【8月3日鷹岡公民館横の納涼市政相談】

■富士見ヶ池に善意のコイが…

富士見ヶ池のコイが少なくて、遊びに来る人もさみしいだろうと、鈴木富男さん（厚原東）は、自分の家の池に飼っていた15歳から60歳もある大きなコイ100匹を寄付してくれました。市はさっそく富士見ヶ池に放流しましたが、みなさんも石を投げたりイタズラしないでかわいがってください。



■富士インターで車両点検

夏の交通安全運動の一環として、東名高速道路へ入る車両の点検を8月10日、富士インターチェンジで行ないました。点検した車両は150台で、31台が整備不良で注意を受け、このうち4台が走行不能なため帰されました。ちょっとした整備不良でも交通事故につながりますから、運転前の点検は必ず実施してください。

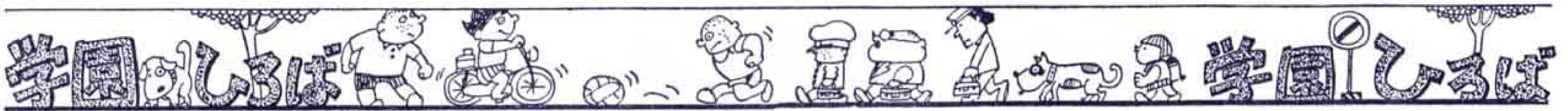


■ダルマとオメンの展示

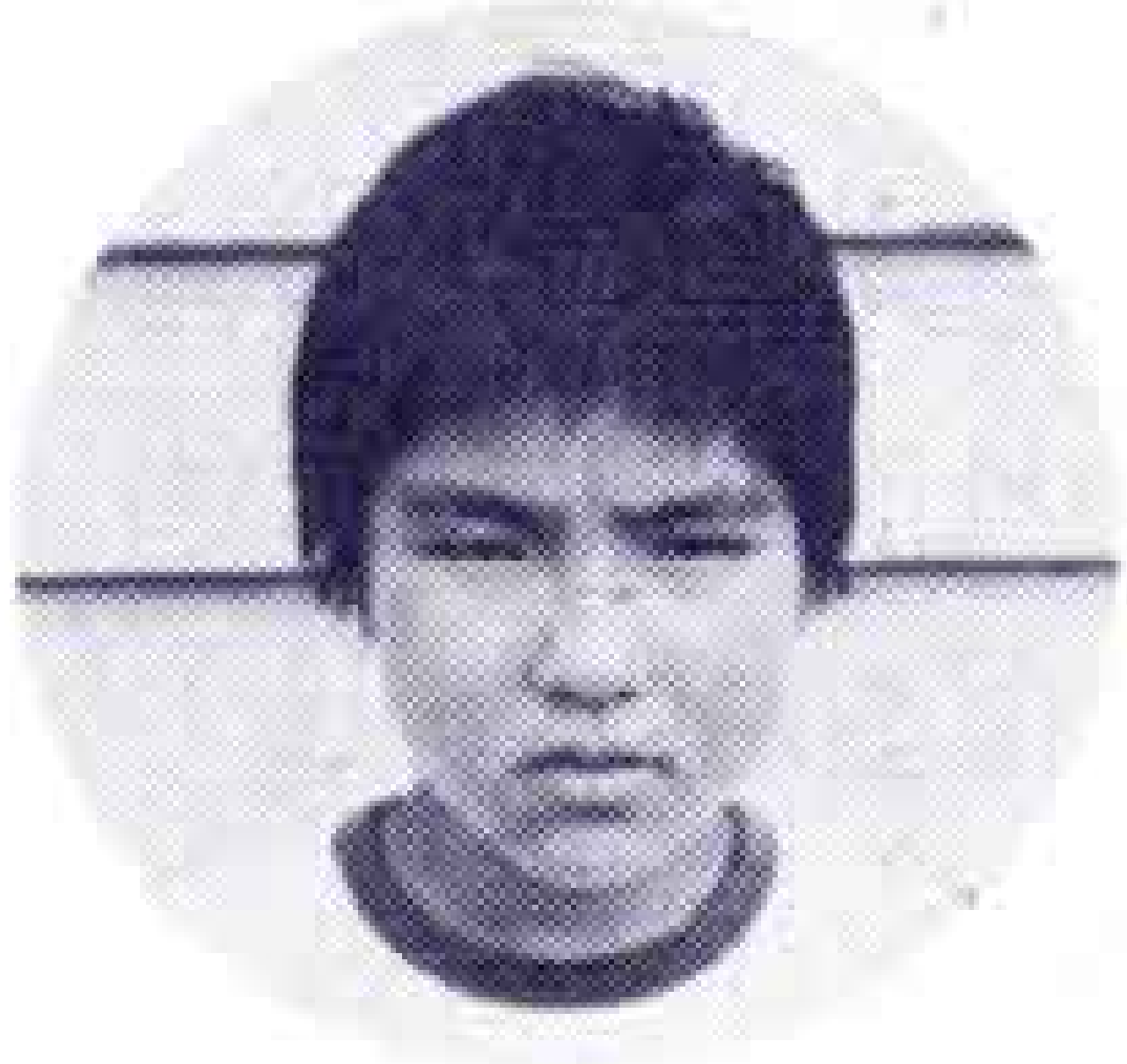
めずらしい全国のダルマとオメンの展示会をさきごろ吉原市民会館で行ないました。1疋もある大ダルマや米つぶに書いたダルマや、オカメ、ヒョットコなどのオメン800点を会場いっぱい展示しました。

日本でダルマがつくられたのは室町時代で現在のよう形になったのは江戸中期、この頃から豊作、大漁、商売繁昌など縁起物として、多くの人にもてはやされるようになりました。





両津からの手紙



吉原小学校5年

小出 恵理子

新潟県の両津から手紙が

来ました。先生に読んでもらいましたが、聞いているわたしの頭の中に、まだみたことのないトキの姿がうかんできました。さどにしかいないトキのことを、わたしたちは国語の「ニッポニアニッポン」で勉強しました。その勉強がきっかけでみんなトキにむちゅうになりました。いろいろな本や百科事典でも調べました。わたしが読んだ、「トキのいる山」とい

う本では、トキの生息地であるびょうじょう山の人たちは、数が少ないトキのために草がぼうぼうにはえている田や畑では、足のみじかいトキがえさをとるのにこまるということで、草をかってえさを田や畑の中に入れて保護しました。

わたしたちは、トキのすんでいない静岡県でも、なにかトキのためになるようなことはないだろうかと学級会をひらいて考えました。わずかなお金でもいいから、トキのためにぼきん運動をして、集

めたお金をさどへおくことにしましたが、わたしたちのクラスだけでは、あまりたくさん集まらないので、ポスターを書いて5年生中にひろめました。先生たちや、父母参観日のおかあさんたちにも協力してもらいました。毎日重くなったぼ金箱をかかえて、はやくトキをよろこばせたいねと話しました。その手紙が両津からきた手紙でした。

わたしたちのお金がとてもよろこばれたということが書いてあり、みんなで手をたたきました。わたしは、わたしの手がトキの美しいうすくれないのつばさを守ったのだと、とてもうれしく思いました。わたし達は、これからもトキのぼ金をつづけたいと思っています。

泳げるようになったよ…

楽しかった水泳教室

カナヅチの子どもたちが、夏休みの間すこしでも泳げるように、今泉小と富士第1小で水泳教室を行ないました。小学校4年生から6年生まで200人が参加し、5日間にわたって基礎からしっかりと練習しました。はじめはプールに入るのをこわがった人も、最後の日にはほとんどが泳げるようになりました。



統計調べに1,000人が

夏休みの宿題は、みんな自分でやつたかなー。今年も市役所に公害や交通事故などの統計を調べに来た人が約1000人もいたよ。特に月曜日の「統計調べの日」には、200人くらい来て、いっしょうけんめい調べていったんだ。

わたしの作品

六年

石川ひろみ

吉永第二小学校

安全全

〔評〕しっかりした作品ですが、「全」がバランスを失っているのが惜しいですね。名前の位置も低いようです。

(青木臨川)

望月博美

元吉原中学校 二年

道程

〔評〕筆の勢いもあり力強い作品です。全体のまとまりもよく、大変よく書けています。

(青木臨川)